

国別障害関連情報 ナイジェリア連邦共和国

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

令和3年2月
（2021年2月）

株式会社国際開発センター
株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

人間
JR
21-005

本調査は、JICA が株式会社国際開発センター及び株式会社コーエイリサーチ&コンサルティングに委託し、実施した。本調査の内容は2020年11月から2021年2月にかけて日本国内において実施した文献・オンライン調査と該当国関係者からオンラインで回答を得た質問票の分析等に基づくものであり、データ類の信憑性について JICA は責任を負わないものとする。

国別障害関連情報
 ナイジェリア連邦共和国
 目次

1. 基礎指標	1
1-1. 基礎指標	1
1-2. 障害に関する指標.....	2
2. 障害関連政策	10
2-1. 障害関連行政制度.....	10
2-2. 障害関連法律の詳細.....	13
2-3. CRPD 批准による対応状況	17
2-4. 障害関連施策の状況.....	17
2-5. 地域に根ざしたリハビリテーション/インクルーシブ開発(CBR/CBID)の状況	25
2-6. 盲人, 視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約批准及び対応状況.....	27
2-7. 新型コロナウイルスの流行がもたらした影響.....	28
3. 障害関連団体の活動概況.....	31
3-1. 障害当事者団体の活動概要.....	31
3-2. 障害者支援団体の活動概要.....	32
4. 参考資料	33

図表目次

図 1-1 機能障害のある者の割合 (2018)	5
図 1-2 機能障害種別の障害者数割合 (5 歳以上) (2018)	6
図 1-3 機能障害のジェンダー別割合 (%) (15 歳以上) (2018)	6
図 1-4 機能障害の年齢別割合 (5 歳以上) (2018)	7
図 1-5 「SOME DIFFICULTY」と回答した人の機能障害・年齢別割合 (5 歳以上) (2018) ...	7
図 1-6 「A LOT OF DIFFICULTY」もしくは「CANNOT DO AT ALL」と回答した人の機能障害・年齢別割合 (5 歳以上) (2018) より転載	8
図 1-7 居住地域別の障害者の割合 (15 歳以上男性) (2018)	8
図 1-8 居住地域別の障害者の割合 (15 歳以上女性) (2018)	9
図 2-1 障害に関する政府行政組織	10
図 2-2 機能障害のある女性・女兒の就学状況 (6 歳から 30 歳) (2018)	20
図 2-3 機能障害のある女性の資産 (土地・家) の保有率 (15 歳から 49 歳) (2018) ...	21
図 2-4 機能障害のある女性の無給雇用割合 (15 歳から 49 歳) (2018)	22
表 1 障害関連担当機関の概要と役割	11

略語表

ABC	Accessible Books Consortium	アクセシブル書籍連合体
AFUB	African Union of the Blind	アフリカ盲人連合
AUSAID	Australian Agency for International Development	オーストラリア国際開発庁
BMZ	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development (Germany)	ドイツ連邦経済協力開発省
CBR	Community-Based Rehabilitation	地域に根ざしたリハビリテーション
COVID-DRM	COVID-19 Disability Rights Monitor	新型コロナウイルス障害権利モニター
CRPD	Convention on the Rights of Persons with Disabilities	国連障害者権利条約
DFID	Department for International Development	英国国際開発省
FME	Federal Ministry of Education	連邦教育省
FMHDS	Federal Ministry of Humanitarian Affairs, Disaster Management and Social Development	連邦人道災害管理社会開発省
FMITI	Federal Ministry of Industry, Trade and Investment	連邦産業貿易投資省
FMOH	Federal Ministry of Health	連邦保健省
FMWASD	Federal Ministry of Women Affairs and Social Development	連邦女性問題社会開発省
HMO	Health Maintenance Organisations	健康維持機構
ICF	International Classification of Functioning Disability and Health	国際生活機能分類
IDA	International Disability Alliance	国際障害同盟
IFLA	International Federation of Library Associations and Institutions	国際図書館連盟
ILO	International Labour Organization	国際労働機関
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
JONAPWD	Joint National Association of Persons with Disabilities	全国合同障害者協会
NAB	National Association of the Blind	ナイジェリア視覚障害者協会
NBS	National Bureau of Statistics	国家統計局
NCC	Nigerian Copyright Commission	ナイジェリア著作権委員会
NCPD	National Commission for Persons with Disabilities	国家障害者委員会
NDHS	Nigeria Demographic and Health Survey	ナイジェリア人口保健調査
NORAD	Norwegian Agency for Development Cooperation	ノルウェー開発協力局
NGO	Non-Governmental Organization	非政府組織
NHIS	National Health Insurance Scheme	国民健康保険制度
NMEP	National Malaria Elimination Programme	全国マラリア撲滅プログラム
NNACB	National Advisory Council for the Blind	全国盲人諮問評議会
NNAD	Nigerian National Association of the Deaf	ナイジェリア全国聴覚障害者協会
NPC	National Population Commission	全国人口委員会
SDGs	Sustainable Development Goals	持続可能な開発目標
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁
WAFOD	West Africa Federation of Organisations of Persons with Disabilities	西アフリカ障害者団体連盟
WBU	World Blind Union	世界盲人連合
WHO	World Health Organization	世界保健機関
WIPO	World Intellectual Property Organization	世界知的所有権機関

VNR Voluntary National Review

自発的国家レビュー

1. 基礎指標

1-1. 基礎指標¹

一人当たり GDP	2,229.86 米ドル	2019 年
-----------	--------------	--------

セクター別政府支出

保健医療（対 GDP 比）	3.76 %	2017 年
教育（対 GDP 比）	3.1 %	1975 年
社会福祉（対 GDP 比）	0.28 %	2016 年

人口

総人口	200,963,600 人	2019 年
男性人口比率	50.67 %	2019 年
女性人口比率	49.33 %	
都市人口比率	51 %	2019 年
農村人口比率	49 %	
出生時平均余命（全体）	53 歳	2018 年
男性	53 歳	
女性	55 歳	

保健医療

栄養不足蔓延率	13 %	2018 年
新生児死亡率（1,000 人当たり）	36 人	2019 年

教育

教育制度 ²		
初等教育年数	6 年	2020 年
義務教育年数	9 年	2019 年
成人識字率（全体）	62 %	2018 年
男性	71 %	
女性	53 %	

¹ 世界銀行（<https://data.worldbank.org/indicator>（参照 2020-12-08））に基づく。

² 初等教育は、Grade1-6 の 6 年間（6 歳から 11 歳）、中等教育は Junior Secondary である Grade7-9 の 3 年間（12 歳から 14 歳）及び Senior Secondary である Grade10-12 の 3 年間（15 歳から 17 歳）、高等教育は大学（diploma は含まない）以上を指す。<https://www.scholaro.com/pro/Countries/Nigeria/Education-System>（参照 2020-12-19）

就学率		
初等教育（総就学率）		
全体	85 %	2016 年
男子	87 %	
女子	82 %	
中等教育（総就学率）		
全体	42 %	2016 年
男子	40 %	
女子	89 %	
高等教育（総就学率）		
全体	10 %	2011 年
男子	12 %	
女子	8 %	

雇用

失業率（全体）	8.0 %	2020 年
男性	7.3 %	
女性	8.7 %	

1-2. 障害に関する指標

1-2-1. 障害の定義

2019年にナイジェリア連邦（以下、「ナイジェリア」）政府が制定した障害者差別禁止法（Discrimination against Persons with Disability (Prohibition) Act）³において、「障害（disability）」は「さまざまな障壁との相互作用により他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げ得る長期的な身体的、精神的、知的又は感覚的な機能障害⁴」と定義されており、2010年9月に政府が批准した国連障害者権利条約（United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities。以下、「CRPD」）の障害者に関する定義と同様の内容となっている。

また、同法では「障害者（person with disabilities）」に二つの定義を与えている。

1. 見る、聞く、考える、歩き回る、登る、降りる、持ち上げる、つかむ、上がる、及びそれらに関連する機能の低下、また、弱さや持久力の大幅な低下により、機能的能力（functional ability）が大幅に制限されると合理的に予想でき、日常の障害（obstacles）

³ FRN (Federal Republic of Nigeria). 2018. Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act. <https://nigeriahealthwatch.com/wp-content/uploads/bsk-pdf-manager/2019/02/1244-Discrimination-Against-Persons-with-Disabilities-Prohibition-ACT-2018.pdf>（参照 2020-12-19）

⁴ 英語（原文）：Disability includes long term physical, mental, intellectual or sensory impairment which in interaction with various barriers may hinder full and effective participation in society on equal basis with others。和訳は外務省のサイトを参照：https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_000899.html（参照 2020-12-19）

や危険に対する困難や脆弱性を大幅に向上させることなく、日課、生活、仕事を行うことができず、恒久的またはかなりの期間そのような状態が継続すると予想され、一時的または恒久的な障害（disability）証明書を受け取った者⁵

2. 長期的な身体的、精神的、知的又は感覚的な機能障害であって、さまざまな障壁との相互作用により他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げ得るものを有する者⁶

1-2-2. 障害に関する統計整備状況

ナイジェリアでは、これまでさまざまな障害者に関する調査を実施してきたが、統計結果はそれぞれ異なる。

2006年のナイジェリア人口調査では、障害者数割合が2.3%と報告されているが、2011年に連邦女性問題社会開発省（Federal Ministry of Women Affairs and Social Development。以下、「FMWASD⁷」）が実施した全国ベースライン調査（National Baseline Survey）では、3.2%と報告されている。

また、同年に実施されたナイジェリアの一般世帯調査パネル2010-11（General Household Survey Panel 2010-11）では、2%の障害者数割合が記録されている⁸。一般世帯調査パネル2010-11は、世界保健機関（World Health Organization。以下、「WHO」）の国際生活機能分類（International Classification of Functioning Disability and Health: ICF）に基づいた質問項目を採用し、障害統計に関する国連ワシントン・グループ短縮質問紙セット⁹を使用した。

2012年、国家統計局（National Bureau of Statistics。以下、「NBS」）は連邦若者開発省（Federal Ministry of Youth Development）と協力し、15歳から35歳までの若者を対象とした全国若者ベースライン調査（National Baseline Youth Survey）を実施し、結果を報告書にまとめた¹⁰。報告書では、ナイジェリアの15歳から35歳までの若者の人口は、6,410万人（うち女性は

⁵ 英語（原文）：a person who has received temporary or permanent certificate of disability to have condition which is expected to continue permanently or for a considerable length of time which can reasonably be expected to limit the person's functional ability substantially, but not limited to seeing, hearing, thinking, ambulating, climbing, descending, lifting, grasping, rising, and includes any related function or any limitation due to weakness or significantly decreased endurance so that he cannot perform his everyday routine, living and working without significantly increased hardship and vulnerability to everyday obstacles and hazards.

⁶ CRPDの障害者の定義と同じ。和訳は外務省のサイトを参照：
https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_000899.html（参照2020-12-19）

⁷ 2019年8月、FMWASDは分割され、新しく設立された連邦人道災害管理社会開発省（Federal Ministry of Humanitarian Affairs, Disaster Management and Social Development）に移された。

⁸ Leonard Cheshire (2018) Disability Data Review: A Collation and Analysis of Disability Data from 40 Countries. London: Leonard Cheshire., p.176, https://www.disabilitydataportal.com/fileadmin/uploads/lcdp/Documents/report-web_version.pdf（参照2020-12-19）

⁹ Washington Group on Disability Statistics, The Washington Group Short Set on Functioning (WG-SS), 19 March, 2020, https://www.washingtongroup-disability.com/fileadmin/uploads/wg/Documents/Questions/Washington_Group_Questionnaire__1_-_WG_Short_Set_on_Functioning.pdf（参照2020-12-08）

¹⁰ NBS (2012) IN COLLABORATION WITH FEDERAL MINISTRY OF YOUTH DEVELOPMENT, NATIONAL BASELINE YOUTH SURVEY, https://www.nigerianstat.gov.ng/pdfuploads/2102%20National%20Baseline%20Youth%20Survey%20Report_1.pdf（参照2020-12-19）

51.6%)と推定し、うち489,900人¹¹が障害の若者であるとしている。そのうち視覚障害 (Visual Impairment) のある若者は167,549人、小児麻痺 (Poliomyelitis) の若者が181,078人、部分麻痺 (Partial Paralysis) のある若者が66,143人、その他が75,130人となっている。なお、報告書にはこの調査で使用した質問事項についての記載はない。また、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals。以下、「SDGs」) の自発的国家レビュー (Voluntary National Review。以下、「VNR」) では、ナイジェリアの約1,000万人に障害があり、人口の約5.2%を占めている¹²、としている¹³。

障害者数の低い割合は、調査導入時の対象者への説明の不備、機能障害についての説明に関する文化的障壁、調査者に対する研修の違い等、報告されていないそれぞれの調査手法の違いに関連している可能性がある¹⁴。また、データ収集の課題には、障害者別統計に対する政府の優先順位の低さや、収集プロセスに関する専門知識の欠如が含まれる¹⁵。

2018年、全国人口委員会 (National Population Commission。以下、「NPC」) は、ナイジェリア連邦保健省 (Federal Ministry of Health。以下、「FMOH」) の全国マラリア撲滅プログラム (National Malaria Elimination Programme。以下、「NMEP」) と協力してナイジェリア人口保健調査 (Nigeria Demographic and Health Survey。以下、「NDHS」) を2018年8月14日から12月29日までの期間、無作為抽出した約42,000世帯を対象に実施した¹⁶。NDHSでは、ワシントン・グループ短縮質問紙セットが使用され、6つの機能領域 (歩行・視覚・セルフケア・聴覚・認知・コミュニケーション) 別の割合が示された。それぞれの質問項目に対して、選択肢は5つあり (「1 いいえ、苦勞はありません」、「2 はい、多少苦勞します (some difficulty)」、「3 はい、とても苦勞します (A lot of difficulty)」、「4 全くできません (Cannot do at all)」及び「5 わかりません」) から回答する方式となっている。質問項目を以下にまとめる。

¹¹ 若者の人口の推計を6,410万人として算出すると、障害のある若者の割合は0.76%となる。

¹² FRN (2020) The Presidency, The Office of the Senior Special Assistant to the President on SDGs OSSAP-SDGs, A Second Voluntary National Review, Integration of the SDGs into National Development Planning, p.2, https://sustainabledevelopment.un.org/content/documents/26309VNR_2020_Nigeria_Report.pdf (参照 2020-12-19)

¹³ 出所及び調査年は不明 (SDGs の VNR に記載なし)。

¹⁴ Leonard Cheshire (2018) Disability Data Review: A Collation and Analysis of Disability Data from 40 Countries., p.33

¹⁵ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.IX, <https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/34073> (参照 2020-12-19)

¹⁶ NPC (2018) in collaboration with NMEP of FMH, Nigeria Demographic and Health Survey, <https://www.dhsprogram.com/pubs/pdf/FR359/FR359.pdf> (参照 2020-12-19)

番号	機能領域	質問項目 (和文 ¹⁷)	質問項目 (英文)
1	歩行	歩行や階段の上り下りがしにくい	Difficulty walking or climbing steps
2	視覚	眼鏡を使用しても、見えにくい	Difficulty seeing
3	セルフケア	入浴や衣服の着脱のような身の回りのことをするのが難しい	Difficulty washing all over or dressing
4	聴覚	補聴器を使用しても、聴き取りにくい	Difficulty hearing
5	認知	思い出したり集中したりするのが難しい	Difficulty remembering or concentrating
6	コミュニケーション	通常の言語をつかっでのコミュニケーションが難しい	Difficulty communicating

NDHS は、無作為抽出した 5 歳以上の 101,481 人を対象に調査し、推定障害数割合を約 8%としている。そのうち、少なくとも 1 つの機能領域で「2 はい、多少苦労します (some difficulty)」と回答した障害者を 7%、また、少なくとも 1 つの機能領域で「3 はい、とても苦労します (A lot of difficulty)」もしくは「4 全くできません (Cannot do at all)」と回答した障害者を 1%と報告している (図 1-1)。しかし、NDHS の推定障害数割合 (約 8%) も、2011 年に WHO が推定した世界人口の障害者数の割合 (約 15%) よりも大幅に低くなっている。

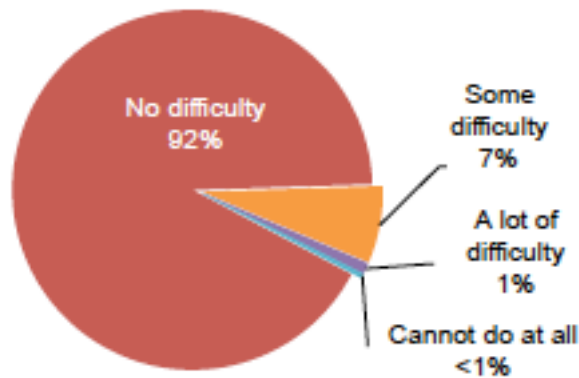


図 1-1 機能障害¹⁸のある者の割合 (2018) ¹⁹

出所： NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey²⁰より転載

¹⁷ 内閣府 (2019) 障害者統計の充実に係る調査研究, https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/tyosa/r01toukei/h4_01.html (参照 2020-12-12)

¹⁸ 原文では Functional difficulty。

¹⁹ 少なくとも一つの機能領域で「some difficulty, a lot of difficulty or cannot do at all」と回答した障害者の割合。

²⁰ NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey, p.458

1-2-3. その他統計

障害者数割合（全体）	調査対象者の約 8.0% ²¹	2018 年
男性	全体の約 47.4% ²²	
女性	全体の約 52.6% ²³	

人口保健調査（2018 年）無作為抽出した 101,481 人（5 歳以上）を対象

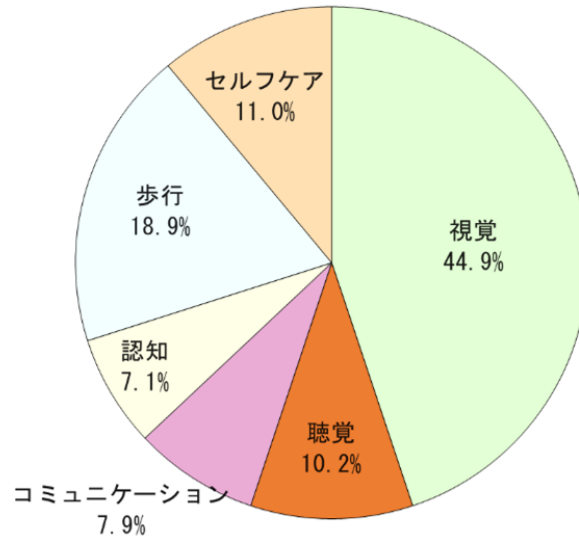


図 1-2 機能障害種別の障害者数割合（5 歳以上）（2018）

出所： NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey²⁴を基に調査チームが作成

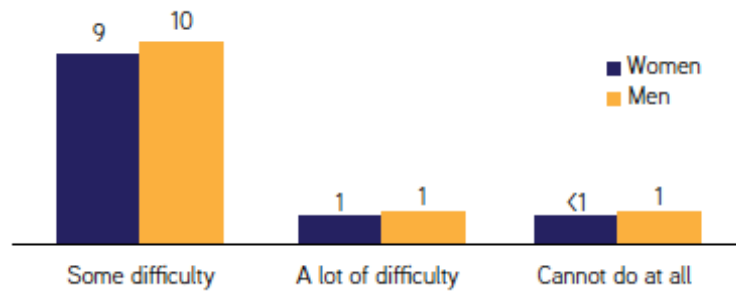


図 1-3 機能障害のジェンダー別割合（%）（15 歳以上）（2018）²⁵

出所： NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey²⁶より転載

²¹ 単純計算すると 8,118 人（101,481 の 8%）となる。

²² 男女別の障害者数は 5 歳以上を対象とした調査では記載がなく、15 歳以上を対象とした調査に基づく割合のみの記載であったため、ここでは 15 歳以上を対象とした男女別の割合のみを記載することとする。NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey, p.458 参照。

²³ Ibid (2018) p.458

²⁴ Ibid (2018) p.460 のデータを参考に調査チーム作成。

²⁵ 少なくとも一つの機能領域で「some difficulty, a lot of difficulty or cannot do at all」と回答した障害者の割合。

²⁶ NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey, p.458

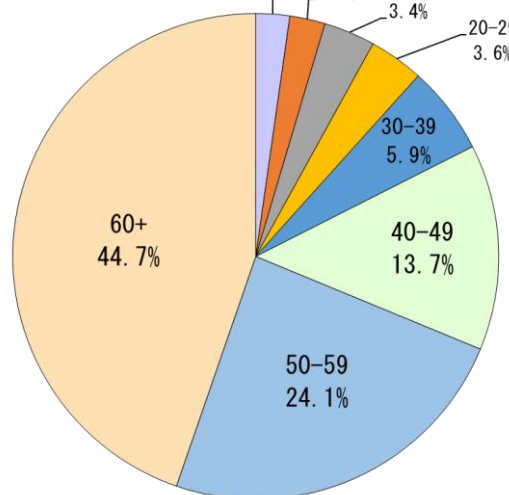


図 1-4 機能障害の年齢別割合（5 歳以上）（2018）

出所： NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey²⁷を基に調査チームが作成

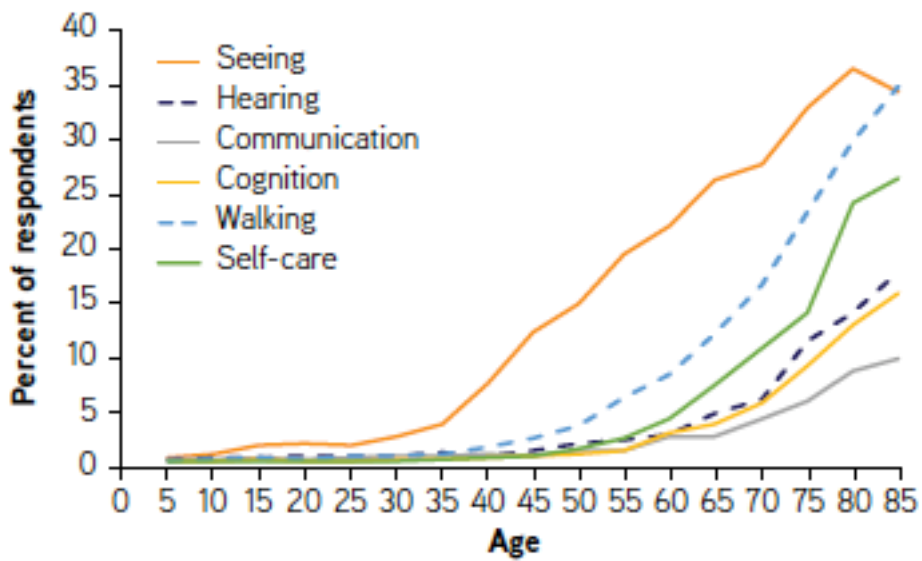


図 1-5 「Some Difficulty」と回答した人の機能障害・年齢別割合（5 歳以上）（2018）

出所： World Bank. 2020. Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment²⁸より転載

²⁷ Ibid (2018) p.460

²⁸ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.12

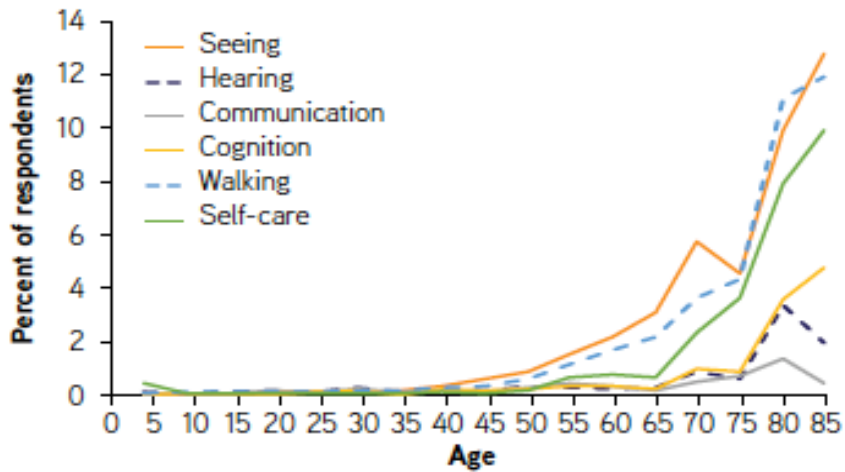


図1-6 「A lot of difficulty」もしくは「Cannot do at all」と回答した人の機能障害・年齢別割合（5歳以上）（2018）より転載

出所： World Bank. 2020. Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment²⁹

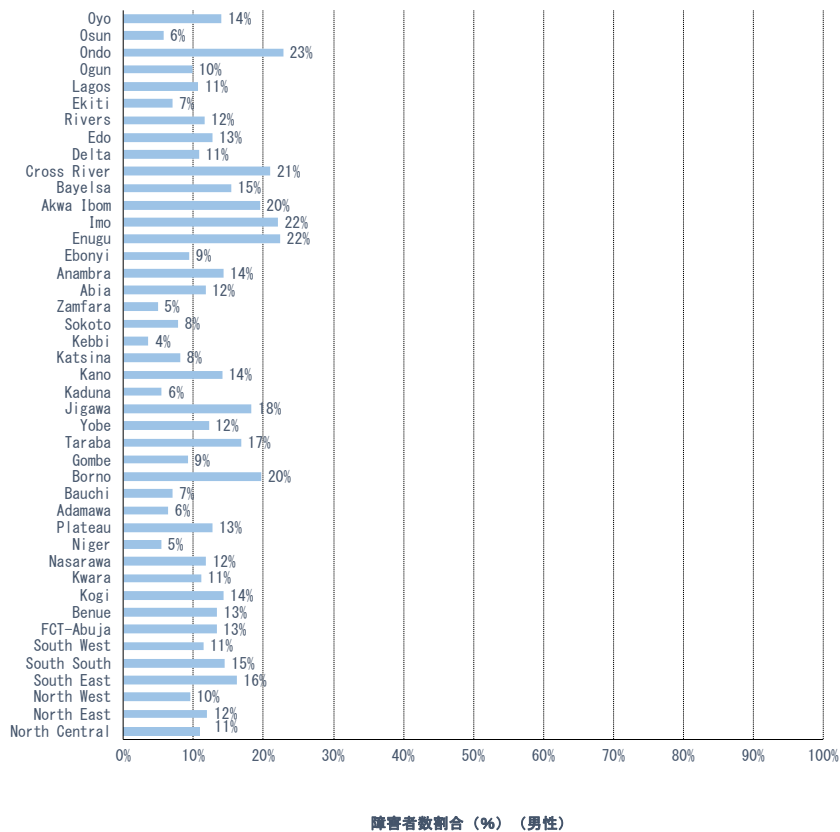


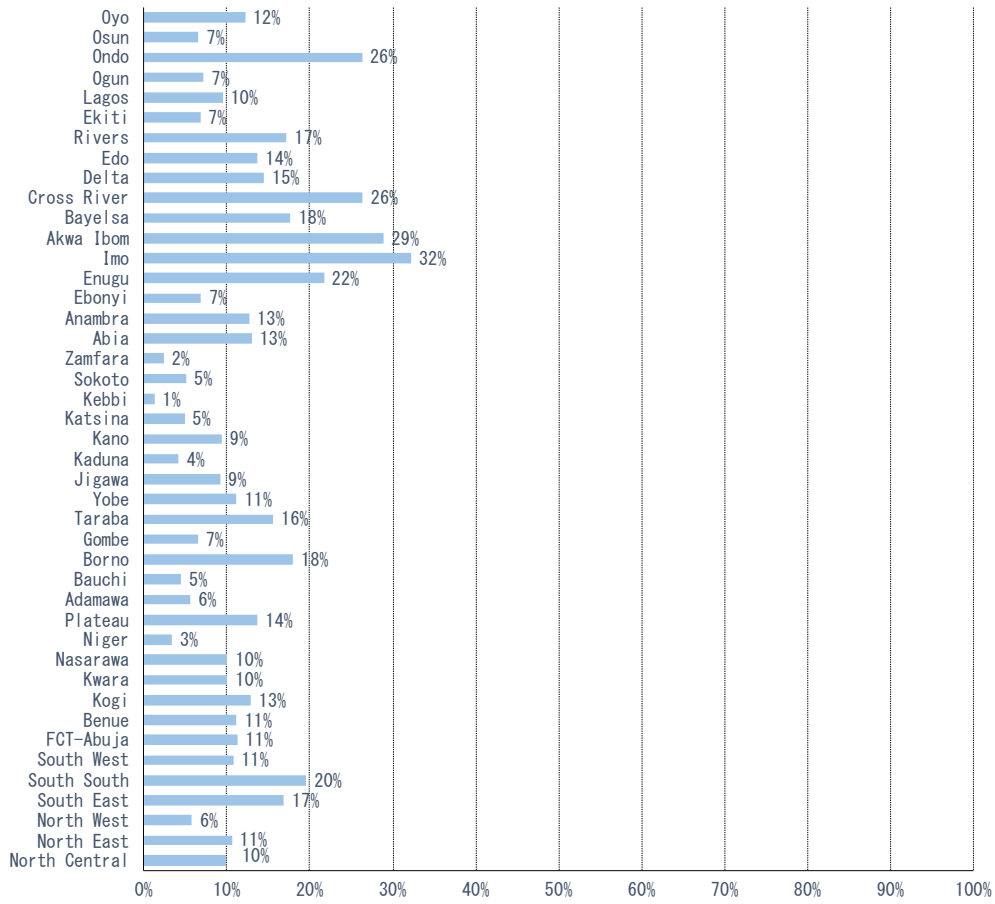
図1-7 居住地域別の障害者の割合³⁰（15歳以上男性）（2018）

出所： NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey³¹より転載

²⁹ Ibid (2020) p.12

³⁰ 原文に人数の記載はない。

³¹ NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey, p.460



障害者数割合 (%) (女性)

図 1-8 居住地域別の障害者の割合³² (15 歳以上女性) (2018)

出所 : NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey³³を基に調査チームが作成

³² 原文に人数の記載はない。

³³ Ibid (2018) p.460

2. 障害関連政策

2-1. 障害関連行政制度

【中央政府行政】³⁴

2018年に制定した障害者差別禁止法は、障害者の社会への完全な統合（full integration）を目的として、大統領府の下に国家障害者委員会（National Commission for Persons with Disabilities。以下、「NCPD」）を設立することを規定した。委員会は、障害者の教育、医療、及び社会的、経済的、市民的権利の責任を負う。委員会の事務局長は、事務所の機能を実行するために必要な適切な資格と経験を持つ障害者とし、委員会の日常業務の方針及び管理の実行について責任を負う。委員会は、活動の年次報告書を連邦政府に毎年6月30日までに提出する。また、委員会には統治評議会（Governing Council）を設立し、評議会は、非常勤の議長、6つの地政学ゾーンから障害者各1名、関係省庁（教育、保健、スポーツ、女性問題、住宅、交通、環境、労働と生産性、法務、及び財務）のそれぞれの代表者、国家人権委員会（National Human Rights Commission）及び国家計画委員会（National Planning Commission）のそれぞれの代表者から構成される。2020年8月24日付の報道によると、大統領が委員会の事務局長、及び評議会の議長と6人の障害者を任命した³⁵。

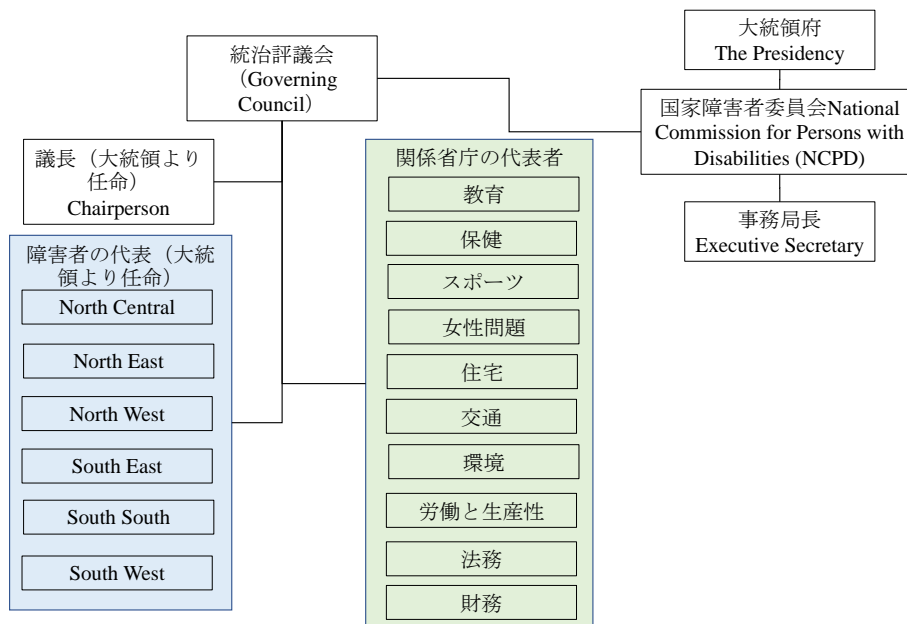


図 2-1 障害に関する政府行政組織

出所： Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act. 2018 を基に調査チームが作成

³⁴ FRN (2018) Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act. 2018

³⁵ Business Day, August 24, 2020, <https://businessday.ng/news/article/buhari-appoints-es-for-national-commission-for-persons-with-disabilities/> (参照 2020-12-19)

障害関連担当機関

障害に関連する機関名と主な概要・役割を以下でまとめる。

表 1 障害関連担当機関の概要と役割³⁶

No.	機関名	主な概要・役割
1	NCPD	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の育成のためのインクルーシブな学校、職業訓練及びリハビリテーションセンターを設立し、促進する。 ・ 公的部門、民間部門、及びその他の関係機関と連携して、すべての政府の政策、プログラム、及び活動において、障害者の特有の (peculiar) 利益が考慮されるようにする。 ・ 障害者の身分証明証を発行する。 ・ 建築に関連する政府機関及び専門機関と協力して、公共建築基準の遵守を実施し、必要な制裁を課し、適切な命令を下す。 ・ 障害者の権利の侵害に関する苦情の窓口となる。 ・ 法廷での救済、調査、起訴、また、障害者差別禁止法の違反に対する制裁を求める個人の権利を支援する。 ・ 障害 (disability) 問題及び障害者に関する研究、開発及び教育を確立する。 ・ メディアと協力して、障害者がアクセス可能な形式で情報を発信する。 ・ すべての障害種別用の支援機器を調達する。
2	統治評議会 (Governing Council)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議長及び6つの地政学ゾーンの障害者は、上院の確認を条件として、大統領から任命される。 ・ 評議会のメンバーの任期は4年で、最長2期の8年。 ・ 評議会は、委員会の業務を管理及び監督し、委員会の効果的な運営のための規則及び規制を策定する役割を担う。
3	連邦人道災害管理社会開発省 (Federal Ministry of Humanitarian Affairs, Disaster Management and Social Development。 以下、「FMHDS」)(旧 FMWASD)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年8月、FMWASDは分割され、新しく設立されたFMHDSに移された。 ・ FMHDS(旧FMWASD)のリハビリテーション課(Rehabilitation Department)が障害者に関する制度の制定やサービスの改善等を担っている。

³⁶ FRN (2018) Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act.

4	連 邦 教 育 省 (Federal Ministry of Education。以 下、「FME」)	・ FME の特殊教育課 (Special Education Branch) が障害者の教育制度の制定やサービスの改善等を担っている。
5	連邦保健省 (FMOH)	・ FMH の病院サービス課 (Hospital Services Department) が障害者の保健制度の制定やサービスの改善等を担っている。
6	連邦労働雇用省 (Federal Ministry of Labour and Employment)	・ 障害者の職業訓練や雇用制度の制定やサービスの改善等を担っている。 ・ 国家雇用政策では、障害者の一般雇用についても触れ、特別なプログラムの実施に必要性に言及している。

出所：障害者差別禁止法を基に調査チームが作成

【地方政府行政】

障害関連担当機関

ナイジェリアでは、障害者の権利を保護するための障害者法が制定されている州が 11 ある (ラゴス (Lagos)、プラトー (Plateau)、ジガワ (Jigawa)、バウチ (Bauchi)、オンド (Ondo)、オグン (Ogun)、ナサラワ (Nasarawa)、アナンブラ (Anambra)、カノ (Kano)、コギ (Kogi)、クワラ (Kwara)。これらの法律の下で、州政府は、障害者が公共の情報通信、公共の建物、公共交通機関、及び経済等の分野、特に教育、保健、社会保障、雇用の分野で障害者がサービスにアクセスできるよう取り組みを行なっている。しかし、これらの法律の施行率は非常に低く、質が十分に備わっていない。そのような状況のなか、ラゴス州とプラトー州は法律施行のための体制を備えている³⁷。そのため、ここではプラトー州を例に地方行政の概要を紹介する。

2005 年に障害者権利委員会法が当時の知事によってプラトー州で可決され、障害者権利委員会が設立された。委員会の目的は、特に教育、雇用、リハビリテーション、公民権において、障害者が社会に完全に参加できるようにする活動を調整・実施することである。委員会は、多分野及び学際的な協力関係の構築に従事し、障害者の利益のために市民社会組織とネットワークを構築し、障害者の完全な包摂を目的とした政策を策定及び実施している。また、委員会は、社会福祉制度の基準を設定し、啓発とリハビリテーション活動を実施し、障害者の利益のために州及び連邦政府からの助成金を受け取る非政府組織 (Non-Governmental Organization。以下、「NGO」) の活動を登録及び監視する。

プラトー州障害者権利委員会は、設立を求める法律が可決されてから 8 年後の 2013 年に設立され、運営チームは 2015 年に任命された。委員会は、知事室に直接繋がっている独立した組織である。委員会の運営チームは 5 人 (会長、秘書、他の 3 人) のメンバーで構成され、8 つの部門 (1.リハビリテーションサービス、2.計画・調査・統計、3.エンパワメント・公民権・法務、4.教育と障害、5.総務、6.経理、7.調達、8.アクセシビリティ) を監督してい

³⁷ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.65

る。

2-2. 障害関連法律の詳細

1999年に制定されたナイジェリア連邦共和国の憲法は、いかなる理由でもナイジェリア人に対する差別を禁じている。

ナイジェリアの障害者差別禁止法 (Discrimination against Persons with Disability (Prohibition) Act)³⁸は、2019年1月23日に大統領が署名し制定された³⁹。これにより障害者の包摂 (inclusion) を働きかけるための法的枠組みが整った⁴⁰。同法は、罰金や懲役刑を含む制裁を犯罪者に課すことにより、差別を犯罪としている。また、公共の建物、構造物、交通をアクセシブルにするための5年間の移行期間も規定している。さらに、就労について、雇用主は、従業員の5%が障害者で構成されていなければならない、と障害者の法定雇用率を設定している⁴¹。障害者差別禁止法の制定は、2010年9月に政府が批准したCRPDの国内における取り組みを後押しする形となるが、政府はまだ実行可能な行動を提案しておらず、障害者は、法律が完全に実施されない限り、差別と司法へのアクセスの欠如に苦しみ続ける⁴²、といった指摘がある。

法律名	障害者差別禁止法 (Discrimination against Persons with Disability (Prohibition) Act)
施行年	2018年 (2019年1月大統領署名)
概要	差別の禁止を定め、障害者は、障害 (disability) を理由として差別されてはならない、と規定し、違反し判決で有罪となった者には、法人に対しては1,000,000ナイラ ⁴³ の罰金、個人に対しては100,000ナイラの罰金または6か月の懲役、あるいはその両方が課せられる。また、差別されている障害者は、この法律に基づく無罪判決または有罪判決に関わらず、犯罪者に対して民事訴訟を起こすことができる、としている。その他にも、建築物と交通のアクセシビリティ、教育、保健、緊急時の人道支援、就労、及び国家障害者委員会の設立について規定している。

³⁸ FRN (2018) Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act.

³⁹ FRN (2020) The Presidency. P.72

⁴⁰ Ibid.(2020) P.47

⁴¹ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.69,

⁴² FRN (2020) The Presidency P.72

⁴³ 日本円では275,950円。JICA, 外貨換算レート表から1円=0.275950NGN (2020年12月の基準レート) で算出。
https://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_g/ku57pq00000kzv7m-att/rate_2020.pdf (参照 2020-12-19)

その他の障害者の権利と関係する主な法律には以下のものがある。

法律名	義務無料ユニバーサル基礎教育法 (Compulsory, Free Universal Basic Education Act)
施行年	2004 年
概要	基礎教育 (初等教育及び Junior Secondary の 9 年間) は義務教育であり教育費を無料と規定している。また、「ユニバーサル基礎教育」の定義付けの際に障害者についても触れ、「幼児期のケアと 9 年間の正規教育、成人の識字教育とノン・フォーマル教育、技能習得プログラム、及び、遊牧民と移民、女兒と女性、コーラン学校の生徒 (Almajiri)、ストリートチルドレン、及び障害者に対する特別 (special) グループへの教育を意味する ⁴⁴ 」、としている。

法律名	国家建築基準法 (National Housing Policy)
施行年	2012 年
概要	この法律は、国の住宅政策をサポートし、さまざまな障害 (disabilities) のある人々が、私的及び公共の建物にアクセスできるようにするための基準とガイドラインを提供している。

法律名	人に対する暴力 (禁止) 法 (Violence Against Persons (Prohibition) Act)
施行年	2015 年
概要	この法律は、私生活及び公的生活における暴力の排除を目指している。人に対するあらゆる形態の暴力を禁止し、犠牲者と犯罪者の罰に最大限の保護と効果的な救済策を提供する。特に障害者についての言及はないが、障害者を含むすべての人々に適用される。2018 年には、障害者権利擁護センター (Disability Rights Advocacy Center) が、障害者を含む開発関係者の法律への理解を深めるためにワークショップを開催した。

障害者政策

ナイジェリア政府は、障害者の権利を保護すべく、障害者に関するさまざまな政策やプログラムを実施している。主要な政策は以下のとおりである。

⁴⁴ FRN (2004) COMPULSORY, FREE UNIVERSAL BASIC EDUCATION ACT. <https://www.lawyard.ng/wp-content/uploads/2020/04/COMPULSORY-FREE-UNIVERSAL-BASIC-EDUCATION-ACT2004.pdf> (参照 2020-12-19)

政策名	国家雇用政策
施行年	1998年
概要	<p>国家雇用政策は、すべての労働者、及び労働を欲しこれから労働しようとするすべての人々のための政策であり、障害者に限ったものではないが、当政策の主な目的は以下のとおりである⁴⁵。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての働く意欲のある人々が、確かに継続的な生計を得られるようにする。 2. 労働生産性の向上を確かなものにする。 3. 各労働者が能力を取得し活用するための可能な限りの機会を提供する。 4. 労働者の基本的権利と利益を保護する。

政策名	国家教育政策 (National Policy on Education)
施行年	2004年
概要	<p>1977年に第一版、1981年に第二版、1998年に第三版が発行された後の、第四版の国家政策である。政策は13章からなり、基礎、初等、中等、高等などの個々の教育レベル毎に詳述している。第10章：特別支援教育 (special schools) が、障害者や移住民などの特別な生活環境にある人々、及び優秀な才能を持つ人々に関する事項である。この項目では、それらの人々を、障害がある人々について“障害者”、移住民などの特殊な生活様式を持つ人々について“不利な立場の人々”、非常に高い知能指数を有する人々を“有能な人々”の3つのカテゴリーに区別している⁴⁶。</p>

政策名	国家ジェンダー政策 (National Gender Policy)
施行年	2006年
概要	<p>この政策は、ナイジェリアの計画、政策、立法、変革活動のすべての側面にジェンダーの視点をもたらすことを目指している。社会における女性と男性の間の根本的な違いを無視することなく、体系的な不平等に対処しようとしている。この政策は、障害 (disability) を社会的脆弱性の一形態として捉え、障害のある女性についても言及している。</p>

⁴⁵ JICA (2009) 国別障害関連情報 ナイジェリア連邦共和国, p.17

⁴⁶ Ibid (2009) p.16

政策名	国家アルビニズム政策 (National Policy on Albinism)
施行年	2012 年
概要	ナイジェリアのアルビニズムに関する国家政策。 2019 年に見直しが完了した政策で、意識の向上 (awareness and sensitization)、権利の保護と促進、参加とエンパワメントの促進に関する取り組みを通じて、アルビニズムの人々の福祉と権利を保障することを目的としている。また、ナイジェリアにアルビニズムと色素脱失 (Hypopigmentation) に関する国家機関を設立するための法律の成立、及び関連する研究とデータ収集の促進を図っている ⁴⁷ 。

政策名	国家特別支援教育政策 (National Policy on Special Needs Education)
施行年	2015 年
概要	ナイジェリアの特別支援教育に関する国家政策。この政策は、学校、家庭、病院にいるナイジェリアの身体的、精神的、情緒的 (emotional) な障害 (disabilities) のある子どもたちへの完全なサービスを提供することを目指している。国の発展のあらゆる側面において、すべての障害者に適切な質的教育を提供すること、そして、すべての障害者が自分の能力に見合ったペースで成長し、国の社会経済的及び技術的發展に貢献できるようにすることを目指している ⁴⁸ 。

政策名	国家インクルーシブ教育政策 (National Policy on Inclusive Education)
施行年	2016 年
概要	ナイジェリアのインクルーシブ教育に関する国家政策。 この政策は、質の高い教育へのアクセスを提供し、安全な学校環境ですべての学習者の積極的な参加を促すことを目的としている。これらの目的を達成するための戦略は以下のとおり ⁴⁹ 。 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人によるインクルーシブ教育に対する政治的意志、受容 (acceptance)、及び賛同 (buy-in) を高めるための高レベルの意識の向上 (sensitization) と啓発。 ・地方、州、国内、及び国際レベルでの関係者との効果的な連携とコミュニティの動員。 ・すべての関係者のための定期的な能力開発 (capacity building)。 ・すべての学校と学習センターにおけるアクセスと安全の確保。 ・インクルーシブ教育に対する制度的支援の改善。 ・カリキュラムとリソース資料の採用。 ・リソースセンターとして機能する特別支援学校 (special schools) の改修・改善。 ・適切なリソースの動員、配分、及び利用。

⁴⁷ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.66

⁴⁸ Ibid. (2020) p. 66

⁴⁹ Ibid. (2020). pp.65-66

政策名	国家社会保障政策 (National Social Protection Policy)
施行年	2017 年
概要	国家社会保障政策は、現行及び新規の社会保障プログラムの両方に対応可能な規定を備えた包括的な枠組みである。また、社会保障分野における緊急事態にも対応している。政策は、8つの分野に関する16の対策で構成されており、障害者に関しては、5つある教育及び医療分野の対策のうちの3つと、4つある生計向上及び雇用分野の対策のうちの1つで特に言及されている ⁵⁰ 。

2-3. CRPD 批准による対応状況

ナイジェリア政府は、2007年3月30日にCRPDに署名し、2010年9月24日に選択議定書とともに批准した。最初の政府報告書の障害者権利委員会への提出期限は2012年10月24日であったが、現時点（2020年12月19日時点）では提出されていない⁵¹。

2-4. 障害関連施策の状況

① リハビリテーションを含む医療サービス

国民健康保険制度 (National Health Insurance Scheme。以下、「NHIS」) は、1999年の憲法第35条に基づいて設立され、すべてのナイジェリア人の健康改善を目的とした制度である。団体としてのNHISは、加入者による拠出型の健康保険制度を管理し、必要な医療サービスを加入者に提供することを保障する社会保障制度を運営している。拠出金や加入者への医療費支払いは、健康維持機構 (Health Maintenance Organisations。以下、「HMO」) が管理している。また、HMOは民間の健康保険も運営している⁵²。

2018年に障害のある女性と女兒のための国家保健政策 (National Health Policy for women and girls with disabilities) が批准 (ratification) されたことで、連邦政府は障害者の医療システムのアクセシビリティ・手頃な価格・包括性 (accessibility, affordability and inclusivity) の改善に向けて大きな一歩を踏み出した。しかし、実際に医療施設で実施するには莫大な投資が必要である、との指摘もある⁵³。大統領府はSDGsのVNRを通じて、連邦政府、州政府、及び地方自治体 (Local Government Area) は予算の15%を保健分野に割り当てることを約束する必要があり、また、これらの予算は、NHISの貧困層を対象とした社会保険制度への支払いに使用されるべきである、と提言している⁵⁴。

2018年に制定された障害者差別禁止法は、障害者の保健について規定しており、第21項

⁵⁰ Ibid. (2020) p.67

⁵¹ OHCHR, UN Treaty Body Database, Reporting status for Nigeria, https://tbinternet.ohchr.org/_layouts/15/TreatyBodyExternal/Countries.aspx?CountryCode=NGA&Lang=EN (参照 2020-12-19)

⁵² National Health Insurance Scheme (NHIS) website, <https://www.nhis.gov.ng>

⁵³ FRN (2020) The Presidency. P.38

⁵⁴ Ibid. (2020) P.84

では、障害者が障害（disability）に基づく差別なしに適切な医療に自由にアクセスできることを保障している。また、精神障害（mental disability）のある人は、国家障害者委員会から恒久的な障害証明書（Permanent Certificate of Disability）を取得し、すべての公的機関で無料の医療及び保健サービスを受ける権利を有する、としている。第 24 項では、公立病院における情報保障について規定している。

ナイジェリアの国家リハビリテーション政策（National Rehabilitation Policy）は、障害者のリハビリテーションに関して規定しているが、よりニーズを満たす包括的な政策が緊急に必要であり、FMWASD は、障害者団体など関係者と協力して、国家リハビリテーション政策に代わる国家障害政策を策定している⁵⁵。

ナイジェリアでは、障害者の医療サービスへのアクセスへの問題を抱えている。医療サービスへのアクセスの障壁には、物理的にアクセスできない環境、医療従事者間の否定的な態度、医療従事者による障害問題（disability issue）に関する知識の低さ、アクセシブルでない医療機器、アクセス可能な形式で利用可能な健康関連情報の欠如が理由としてあげられている⁵⁶。ナイジェリアの医療サービスへのアクセシビリティに関する研究はあまり多くないが、コギ（Kogi）州とニジェール（Niger）州の障害者調査では、回答者の 71% が、障害に特化した医療サービスにアクセスできなかったと報告している⁵⁷。

② 教育

2004 年の国家教育政策第 10 章の 95 項⁵⁸に、特別支援教育の狙い・目的が記載されている⁵⁹。

- ・ 身体的、感覚的（sensory）、知的、精神的（psychological）または情緒的（emotional）な障害に関係なく、すべての子どもに対し教育の機会を均等に与えるという考え方に具体性を持たせる。
- ・ 特別な協力を必要としているすべての人々が、国の発展に個々の能力で貢献できるよう、十分な教育を供給する。
- ・ すべての受益者に対し、多様で適切なカリキュラムを作成する。

また、96 項は、特別支援教育に関する活動の調整に関して FME の責務について言及している。

2017 年、政府は、小中学校への障害児の入学促進を図る目的で、国家インクルーシブ教

⁵⁵ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.68

⁵⁶ Ibid (2020) p.37

⁵⁷ Smith, N. (2011) “The Face of Disability in Nigeria: A Disability Survey in Kogi and Niger States.” Disability, CBR and Inclusive Development 22 (1).
https://www.researchgate.net/publication/271123774_The_Face_of_Disability_in_Nigeria_A_Disability_Survey_in_Kogi_and_Niger_States (参照 2020-12-19)

⁵⁸ FRN (2004) National Policy on Education, 4th edition,
http://wbgfiles.worldbank.org/documents/hdn/ed/saber/supporting_doc/AFR/Nigeria/TCH/National%20Policy%20on%20Education.pdf (参照 2020-12-23)

⁵⁹ JICA (2009) 国別障害関連情報 ナイジェリア連邦共和国, p.17

育政策（National Inclusive Education Policy: NIEP）を開始し、不就学の障害のある子どもたちの数が減少傾向にある⁶⁰、としている。しかし、障害（disabilities）や健康上の問題を抱える子どもたちは、両親によって家に匿われていることがある、との報告もある。

全国合同障害者協会（Joint National Association of Persons with Disabilities。以下、「JONAPWD」）は2015年にインクルーシブ基礎教育に関するベースライン調査を実施し、その結果をまとめた報告書⁶¹では、不就学の子どもたちの20%に障害があると推定した。同報告書では、障害のある子どもたちに質の高い基礎教育を提供するために必要な、教師や支援技術（assistive technologies）、また、教室の数やインフラ施設の質も不足していると指摘している。また、別の報告書では、25歳から54歳で大学を卒業した障害のある人の割合は4.5%であり、これは障害のない人の9.1%と比べて4.6ポイント低く、障害者の教育へのアクセスの問題を表している。識字に関するデータは、障害のある若者とない若者の間の違いを示しており、障害のある男性が52%で、障害のない男性の66%と比べると14ポイント低く、障害のある女性が21%で、障害のない女性の62%と比べると41ポイントも低く、その違いは顕著である⁶²。これは、社会文化的障壁（Socio-cultural barriers）が女性の基礎教育への参加を妨げ、特に国の一部の過激派グループの管理下にある地域では、女兒の教育へのアクセスが限定されている。

障害のある女性・女兒の教育について、2018年のNDHSによると、6つの機能領域（歩行・視覚・セルフケア・聴覚・認知・コミュニケーション）の少なくとも1つで「多くの困難（a lot of difficulty）」を抱えていると回答した女性と女兒は、初等教育が不完全であるか、初等教育のみである可能性が高くなっている。また、一時的または完全な中等教育または高等教育を受ける可能性も低くなっている。機能領域の1つに関して「全くできない（cannot do at all）」と回答した女性と女兒は、教育を受けていない可能性はるかに高くなっている。図2-2では6歳から30歳までの機能障害のある女性と女兒の就学状況を示す⁶³。

⁶⁰ FRN (2020) The Presidency. P.46

⁶¹ JONAPWD (2015) REPORT OF THE BASELINE SURVEY AND STAKEHOLDERS MAPPING ON INCLUSIVE BASIC EDUCATION IN AKWA- IBOM STATE, KWARA STATE AND THE FEDERAL CAPITAL TERRITORY ABUJA, p.12
https://www.jonapwd.org/report_of_baseline_survey_pdf (参照 2020-12-19)

⁶² Leonard Cheshire (2018) Disability Data Review: A collation and analysis of disability data from 40 countries, p.176

⁶³ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.13

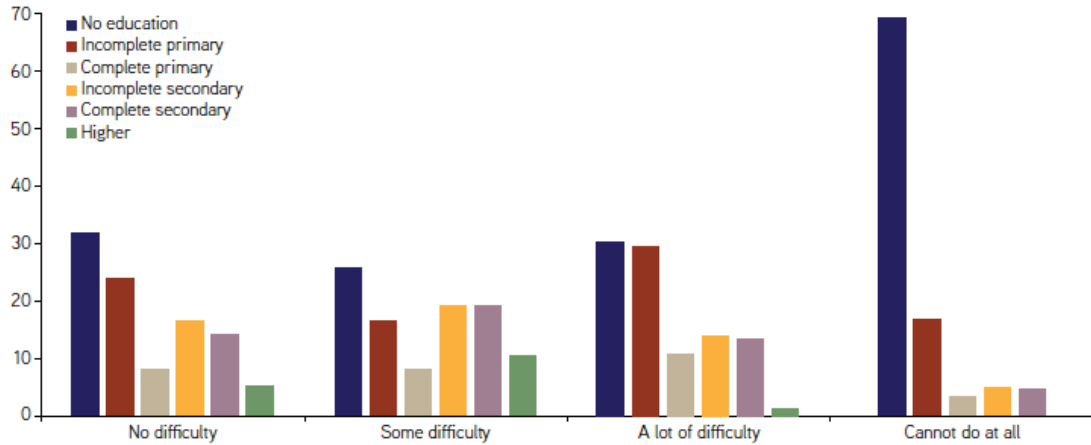


図 2-2 機能障害のある女性・女児の就学状況（6 歳から 30 歳）（2018）

出所： World Bank. 2020. Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment⁶⁴より転載

③ ジェンダーと障害

2018 年に策定された、女性と女児の性と生殖に関する健康と障害者の権利に関する国家政策（National Policy on Sexual and Reproductive Health and Rights of Persons with Disabilities, especially Women and Girls.）は、すべての性と生殖に関する健康プログラムやサービスが障害者に確実に届き、そのようなサービスへのアクセスが拡大し、障害のある女性と女児の性と生殖に関する健康問題についての理解が深まることを目的としている。この政策は、関係者の啓発及び資源動員の方法としても機能し、下記の 5 つのテーマを軸に目的の達成を目指している⁶⁵。

1. 知識を増やし、意識を高め、支援を生み出し、課題を主流化する。
2. 教育、サービス、交通機関、情報、コミュニケーションへのアクセスを含む、障害のある女性の性と生殖に関する健康へのアクセスを改善する。
3. 障害のある女性を、政策や法律を含むすべての政府プログラムに主流化し、障害のある人に予算を割り当てることにより、ガバナンスへの障害のある女性の包摂（inclusion）を改善する。
4. パートナリシップと協働（collaboration）のための架け橋を構築し、関係者の能力を開発する。
5. 障害のある女性が関与する問題、活動、及びプログラムの調査とモニタリング・評価を促進する。

2018 年の NDHS によると、全体として、ナイジェリアの男性は女性の 3 倍以上家や土地を所有している⁶⁶。また、NDHS では、いずれかの機能領域が「非常に困難（a lot of difficulty）」または「全くできない（cannot do at all）」女性は、土地や家を単独で、または共同で所有する可能性が大幅に低くなっている。

⁶⁴ Ibid. (2020) p.13

⁶⁵ Ibid. (2020) pp.67-68

⁶⁶ NPC (2018) Nigeria Demographic and Health Survey, p.382

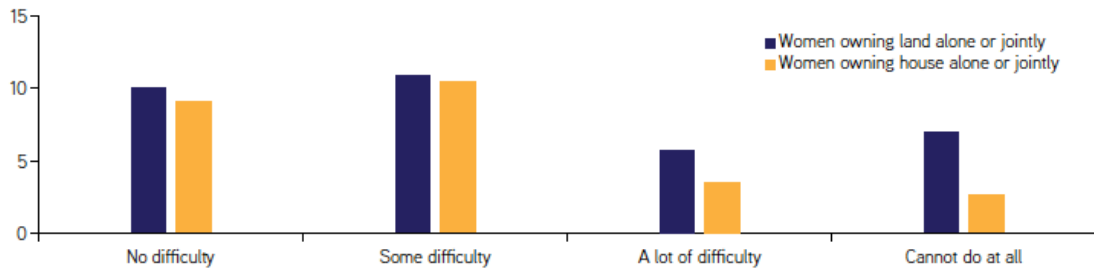


図 2-3 機能障害のある女性の資産（土地・家）の保有率（15 歳から 49 歳）（2018）

出所： World Bank. 2020. Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment⁶⁷より転載

SDGs の VNR は、統計調査の課題として、保健や教育分野など一部の社会分野は、細分化された男女別データを持っている場合が多いが、それらのデータは女性の多様性（heterogeneous nature）を反映しておらず、その結果、障害のある女兒のようなグループは公式の統計ではほとんど見えないままとなっている⁶⁸、と指摘している。

④ 訓練・雇用、就労支援

1998 年の国家雇用政策では、障害者は、障害者証明書を有する限り、均等な労働の機会を促進する、と規定している。また、2018 年の障害者差別禁止法では、障害のある人は、他の人と平等に働く権利があり、開かれた労働市場や職場環境で自由に選択または受け入れられた仕事によって生計を立てる機会の権利を規定しており、これに違反をした者には、罰金が課せられる。また、第 29 項では、すべての公的機関は、可能な限り、雇用の少なくとも 5% は障害者を雇用しなければならない、と法定雇用率を規定している。

技術訓練と職業訓練は、どちらもナイジェリアのフォーマル及びノンフォーマルの環境で行われ、基本的な技術及び科学的知識とスキルベースの学習を組み合わせた技術訓練と職業訓練の組み合わせとして提供されている。ナイジェリアの技術訓練及び職業訓練に関する障害者に関する情報は多くはないが、政府は、障害者に訓練を提供するために 6 つのリハビリテーション・職業訓練センター（各地政学的ゾーンに 1 つ）を設立した。しかし、これらのセンターで提供されるほとんどの職業訓練は時代遅れで、機能せず、若い世代のニーズに対応していない、という報告があり、政府は、開発パートナーや市民社会組織が運営している包括的な技術・職業訓練から学ぶ必要がある⁶⁹。2012-2013 年の一般世帯調査パネル（General Household Survey Panel 2012-13）によると、過去 12 カ月間のフォーマル及びノンフォーマルの教育と訓練への参加率は、障害のない若者（55%）よりも障害のある若者（25%）の方が低くなっている⁷⁰。

失業率については、障害のある人とない人の差が、若年層では 28 ポイント（障害のある

⁶⁷ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.14

⁶⁸ FRN (2020) The Presidency. P.63

⁶⁹ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, pp.30-31

⁷⁰ Ibid. (2020) p.32

人は 77.3%、障害のない人は 49.2%) であるが、成人では 41 ポイント（障害のある人は 62.5%、障害のない人は 21.5%）と増加している。また、インフォーマルセクターで働く障害のある女性の割合（33%）は、障害のある男性の割合（27%）よりも高い⁷¹。

障害のある女性の就労に関して、2018 年の NDHS によると、6 つの機能領域（歩行・視覚・セルフケア・聴覚・認知・コミュニケーション）のいずれかで「多くの困難（a lot of difficulty）」を抱えている女性、特に「全くできない（cannot do at all）」に分類されている女性は、仕事に対して報酬が支払われない可能性ははるかに高くなっている。「多くの困難」を抱えている女性の 21%と「全くできない」女性の 37%は、「困難のない（No difficulty）」人の 18%、「ある程度の問題（some difficulty）」のある人の 14%と比較して、労働に対する対価を受け取っていない。下図では 15 歳から 49 歳までのいずれかの機能障害のある女性の無給雇用の割合についてまとめた⁷²。

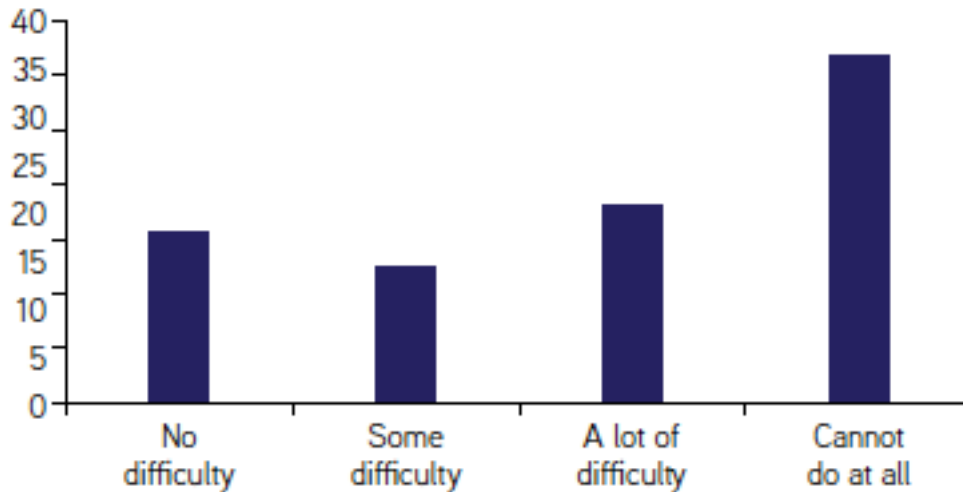


図 2-4 機能障害のある女性の無給雇用割合（15 歳から 49 歳）（2018）

出所： World Bank. 2020. Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment⁷³より転載

大統領府は、SDGs の VNR を通じて、2030 年までに、若者と障害者を含むすべての女性と男性の完全に生産的な（productive）雇用と適正な仕事（decent work）を達成し、平等な価値のある仕事のための平等な賃金体制を達成する⁷⁴、という目標を掲げている。

⑤ 社会保障を含む障害者への社会サービス

2017 年に作成された経済回復と成長計画（Economic Recovery and Growth Plan）は 2016 年の戦略的実施計画（strategic implementation plan）に基づいた中期計画である。ナイジェリア人

⁷¹ Leonard Cheshire (2018) Disability Data Review: A collation and analysis of disability data from 40 countries, p177

⁷² World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.13

⁷³ Ibid. (2020) p.15

⁷⁴ FRN (2020) The Presidency. P.14

の想像力と強靱性（*ingenuity and resilience*）を活用しながら経済成長を回復することを目的として、公的部門と民間部門両方の効率改善に焦点を当て、構造的経済変革を通じた持続的な包括的成長を打ち出した。この計画は、その目的を達成するために60の戦略を立て、そのうちの2つは社会的包摂に直接関係し、一方は、特に高齢者と障害者を対象とし、もう一方は、社会的弱者のためのセーフティネットに関するものである。他にも、雇用創出に關係している戦略が2つあるが、それらは障害についての言及はない。その点について、障害者のインクルージョンは、対象を絞った戦略に加えて、分野横断的（*cross-cutting issue*）な問題として扱われるべきであり、障害者運動とインクルージョンの専門家は、計画文書の作成と改訂に積極的に参加する必要がある⁷⁵、といった指摘がある。

NHIS が実施している脆弱なグループを対象とした社会健康保険プログラム（*Vulnerable Group Social Health Insurance Programmes*）は、身体的状態（*physical status*）のために経済活動に従事できない人々に医療サービスを提供するよう設計されており、そのなかには身体／精神障害者（*Physically/Mentally Challenged Persons*）に対する身体障害者社会健康保険プログラム（*Physically Challenged Persons Social Health Insurance Programme*）が含まれている。このプログラムでは、連邦政府、州政府、地方自治体（*Local Governments*）、開発パートナー、市民社会組織が、脆弱なグループ基金（*Vulnerable Group Fund*）に事前に拠出金を支払うことになっている⁷⁶。

大統領府は、SDGs の VNR を通じて、貧困層と脆弱層を含むすべての人をカバーする適切な社会的保障システムと対策を実施する必要がある⁷⁷、と提案している。また、貧困削減に取り組む方法として、現金給付制度の強化が必要であり、障害者や高齢者を含む貧困世帯を支援する革新的な方法を開発する必要がある⁷⁸、としている。具体的な方法としては、村の貯蓄貸付アプローチ（*village savings and loan approaches*）の拡大、高齢者や障害者を含む非常に脆弱な家族への現金給付、女性や障害者の参加への障壁を除去するための市場システムの再構築など、を挙げている⁷⁹。

⑥ バリアフリーなまちづくり、防災計画における障害関連の取り組み

・バリアフリー

2012年に制定された国家建築基準法は、アクセシビリティについても規定しているが、2018年の障害者差別禁止法でも、建築物及び交通のアクセシビリティについて規定している。

障害者差別禁止法⁸⁰の建築物のアクセシビリティに関しては、第3項から第8項までに記載があり、障害のある人は、他の人と平等に物理的な環境や建物にアクセスする権利があ

⁷⁵ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.67

⁷⁶ National Health Insurance Scheme (NHIS) website, <https://www.nhis.gov.ng>

⁷⁷ FRN (2020) The Presidency. P.48

⁷⁸ Ibid. (2020) P.55

⁷⁹ Ibid. (2020) P.84

⁸⁰ FRN (2018) Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act. p.6-8

るとしている。また、同法の施行日から、5年間を移行の準備期間と設定し、その期間内に、障害者がアクセスできないすべての公共の建物及び構造物をアクセシブルにするよう規定している。新規に設立される公共建築物に関しては、建設する前に、計画を関係当局が精査し、計画が建築基準に準拠していることを確認しなければならない、としている。建築計画の承認に責任を負う政府または政府機関、団体または個人は、計画が建築基準に沿っていない場合、公共建築の計画を承認してはならず、それに違反した者は、罰金もしくは懲役が課せられる。

また、障害者差別禁止法の交通のアクセシビリティに関しては、第9項から第12項までに記載があり、公共交通機関は、車いすを含む障害者が車両、公園、バス停にアクセスしやすいように、リフト、スロープ、その他の機器を用意し、定期的かつ頻繁な保守が行われ、操作可能な状態に維持されなければならないとしている。また、この法律の施行から5年以内に、目的地の聴覚的及び視覚的表示を備え付けなければならない、としている。さらに、優先駐車場の設置も規定しており、違反者には罰金が課せられることとなる。加えて、船舶、鉄道、航空機に関する規定や、アクセシブルな情報についての規定も記載されている。

・ 防災

戦争、紛争、自然災害、強制移動などの影響により、障害者はそれらの緊急事態の影響を受けやすく、また、障害者の割合は上昇すると言われている⁸¹。ナイジェリアでは、障害者差別禁止法の第25項で、リスク、暴力、緊急事態、自然災害の発生のすべての状況において、政府は、障害者の特有の脆弱性を認識して、障害者の安全と保護を確保するために必要なすべての措置を講じることを規定している⁸²。

⑦ 障害と開発分野の国際協力実績（国際機関、二国間援助機関、国際 NGO 等）

過去 10 年間の実績

<p>日本政府</p>	<p>【草の根・人間の安全保障無償資金協力（在ナイジェリア日本大使館）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナイジェリア農場・工芸品盲人センター⁸³（施設の改修及び職業訓練器材供与を実施し、視覚障害者の雇用機会拡大及び自立支援に寄与することを旨とする。）（2019） <p>【ノン・プロジェクト無償資金協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉⁸⁴（ナイジェリア全土の病院等施設に対して 2750 台の車いす及び 450 台の歩行補助器を拠出）（2015）
-------------	---

⁸¹ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.VII

⁸² FRN (2018) Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act. p.10

⁸³ 在ナイジェリア日本大使館 <https://www.ng.emb-japan.go.jp/files/000549231.pdf>（参照 2020-12-25）

⁸⁴ 在ナイジェリア日本大使館 https://www.ng.emb-japan.go.jp/j/photo_gallery/20150827nonpro_grantaid.pdf（参照 2020-12-25）

<p>他ドナー</p>	<p>【米国国際開発庁 (United States Agency for International Development: USAID)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インクルーシブ基礎教育促進に関する事業の一環として、JONAPWD が実施したベースライン調査を支援。 ・ 障害者を含む社会から取り残されたグループに焦点を当て、啓発やモニタリングに係るガバナンス能力の向上を目指す啓発・市民参加強化 (Strengthening Advocacy and Civic Engagement: SACE) プログラムを実施。 <p>【イギリス国際開発省 (Department for International Development: DFID)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙プロセス、人道支援、経済発展、及び説明責任の分野における障害主流化促進。 <p>【ドイツ連邦経済協力開発省 (Federal Ministry for Economic Cooperation and Development (Germany): BMZ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健、生計、教育に焦点を当てた、障害者を含む人道支援 <p>【オーストラリア国際開発庁 (Australian Agency for International Development: AUSAID)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メンタルヘルス及び熱帯病の治療の促進。 ・ 産科瘻孔 (obstetric fistula) の治療及び障害のある女性の性と生殖に関する健康。 <p>【欧州連合 (European Union)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルビニズムの人々の社会サービスへのアクセス、障害のある女性の司法へのアクセス、及び選挙プロセスへの障害者の参加を促進。 <p>【オランダ大使館/政府】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者のガバナンスと政治参加を促進。 <p>【失明予防のための国際機関 (International Agency for the Prevention of Blindness)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児のための目の健康とインクルーシブ教育を促進。 <p>【フォード財団西アフリカ (Ford Foundation West Africa)】</p> <p>障害者の政治参加を支援。</p>
-------------	---

2-5. 地域に根ざしたリハビリテーション/インクルーシブ開発 (GBR/CBID) の状況

地域に根ざしたリハビリテーション (Community-Based Rehabilitation, 以下、「CBR」) は、障害 (disability) のあるすべての人々の平等と社会参加促進のための地域レベルの取り組みと多部門アプローチ (community-level effort and multi-sectorial approach) である⁸⁵。

ナイジェリアでの CBR の実践、CBR 経験や教訓、及び実施中の CBR プログラムの好事例を文書化した実証研究は多くはないが、職業リハビリテーションプログラムを完了した障害者の地域への再統合 (reintegration) 促進を目的としたパイロットプロジェクトがオヨ

⁸⁵ Samuel, J. U. (2015) "Utilization of Community Based Rehabilitation for Persons with Disabilities (PWD) in Nigeria: The Way Forward." European Scientific Journal 11 (25): pp.80-88. <https://www.infondt.org/resource/utilization-community-based-rehabilitation-persons-disabilities-pwd-nigeria-way-forward> (参照 2020-12-19)

(Oyo) 州で実施された⁸⁶。このプロジェクトは、訓練生に回転ローン⁸⁷ (revolving loan) を提供し、開始以来 155 人の障害者の職業訓練に成功した。波及効果として、他の 6 つの州で導入され、障害者に対する職業訓練プログラムが 7 から 24 に増加した。主な実施上の課題には、ローンの返済率が低いことによる不十分な資金調達や、視覚障害者を訓練するための地域の職人の専門知識の欠如が挙げられている。

また、アクワイボム (Akwa Ibom) 州での CBR プログラムの受益者に関する調査結果は、CBR と障害者の生計向上との間に有意な関連があることを示している⁸⁸。

さらに、ナイジェリア北部でのハンセン病の影響を受けた人々のために実施された CBR プログラムでは、社会経済の変容に関する 13 年間の調査結果を示しており、CBR の実施が、生計の改善、自尊心の回復、また、ハンセン病の影響を受けた人々に対する地域への受け入れを刺激した可能性があると報告している⁸⁹。しかし、プログラムでは、受益者がプログラムに経済的に依存し続けており、プログラムに対する他の資金導入やパートナーシップ構築に対する働きかけは弱く、プログラムの持続可能性が疑問視されている。

2015 年、CBM (旧 Christian Blind Mission) のナイジェリア事務所は、10 の CBR プロジェクトを評価した。1994 年以来、CBM は、ナイジェリアの 8 つの州にある合計 10 のパートナー団体を支援して、CBR を実施してきた。この評価の目的は、複数年計画の戦略的方向性を示すために、10 の CBR プログラムの実施、管理、及び効果に関する長所と短所を評価することであった⁹⁰。評価の結果、効果的な CBR の事業化に不可欠な以下のような複数の要因が見つかった：

- ・ 政府との強力な協力関係を含む、多部門のパートナーシップネットワークの確立
- ・ 障害者のエンパワメント
- ・ CBR の原則の明確な理解と実践
- ・ 地域 (community) を対象とした活動
- ・ CBR プログラムのオーナーシップの確立
- ・ 慈善ベースではなく権利ベースのアプローチの採用

また、地域に根ざしたアプローチは、病院などの施設内で実施されている CBR プログラムよりも効果的である、としている。

⁸⁶ Alade, E. B. (2004) "Community-based Vocational Rehabilitation (CBVR) for People with Disabilities: Experiences from a Pilot Project in Nigeria." *British Journal of Special Education* 31 (3): pp.143-149.

https://www.researchgate.net/publication/229002550_Backbone_principles_of_the_CBR_guidelines_and_their_application_in_the_field_of_leprosy (参照 2020-12-19)

⁸⁷ 「回転ローン」とは、一定の与信枠の範囲内において、自由に反復借入れが可能で、また返済については一定のミニマムペイメント (毎月支払う最小返済義務額) でよいというタイプのローンである。iFinance, <https://www.ifinance.ne.jp/glossary/loan/loa131.html> (参照 2020-12-19)

⁸⁸ Effiong, U. U., and E. Otu. (2017) "Community-based Rehabilitation Services and Livelihood Enhancement for Persons with Disabilities in Nigeria: A Case Study of Akwa Ibom State. *Journal of Sociology, Psychology and Anthropology in Practice* 8 (1): pp.62-77.

⁸⁹ Ebenso, B., M. Idah, T. Anyor, and F. Opakunmi. (2010) "Lessons from the Evolution of a CBR Programme for People Affected by Leprosy in Northern Nigeria." *Leprosy Review* 81 (4): pp.318-331. doi: 10.13140/RG.2.2.18005.32485. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/21313977/> (参照 2020-12-19)

⁹⁰ CBM (2015) Enablement. Evaluation of 10 CBR Programs Supported by CBM in Nigeria..https://enablement.eu/wp-content/uploads/2019/09/Annual_report_2015.pdf (参照 2020-12-19)

⁹¹ナイジェリアでの CBR プログラムの復活は、地域レベルで障害者のインクルージョンを促進し、国家の障害者インクルーシブ開発（disability-inclusive development）を推進するために不可欠であり、持続可能性を維持するために以下の取り組みが必要としている：

- CBR の原則をプロジェクトの実施計画に盛り込むために、CBR 関係者と彼/彼女らの能力開発の取り組みに新しい方向性を加える。
- 例えば、効果的な着想またはスキームの継続性を確保することによって、地域レベルの CBR プログラムの変革プロセス（change processes）を維持する。
- CBR プログラムの評価とオーナーシップに関する決定に、障害者、障害者団体、及び地域の参加を確保する。
- 他部門とのパートナーシップとネットワークを促進する。

2-6. 盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約批准及び対応状況

ナイジェリア政府は 2017 年 10 月 4 日に、世界的著作権機関（World Intellectual Property Organization。以下、「WIPO」）が障害者のアクセス権と著作権の調和を進めている、マラケシュ条約に批准した。

ナイジェリアで著作権を制限する国内法は、著作権法（Copyright Act）⁹²である。著作権法は 1988 年に著作権法令（Copyright Decree）として公布された。1990 年、既存のすべての連邦法（Laws of the Federation）の改正により、法令は著作権法に再指定され、ナイジェリア連邦法第 68 章に含まれた。著作権法は、1992 年の法令第 98 号、及び 1999 年の法令第 42 号によって改正され、2004 年にナイジェリア連邦法第 28 章として再制定された⁹³。著作権法は、主に、著作権及びそれに関連する権利（隣接権）、知的財産及び関連法の施行、伝統的な文化表現、知的財産規制機関について規定している。

公認機関（Authorized Entity）は、著作権局（Copyright Office）として連邦情報文化省（Federal Ministry of Information and Culture）傘下にあるナイジェリア著作権委員会 Nigerian Copyright Commission (NCC) があり、工業所有権事務所（Industrial Property Office）は、連邦産業貿易投資省（Federal Ministry of Industry, Trade and Investment。以下、「FMITI」）の商法部（Commercial Law Department）の商標、特許及び意匠登録課（Trademarks, Patents and Designs Registry）がある。また、技術革新サポートセンター（Technology and Innovation Support Center）として、国立バイオテクノロジー開発庁（National Biotechnology Development Agency）と FMITI の意匠登録課が担っている。寄託図書館（Depository Library）は、FMITI が指定されている⁹⁴。

マラケシュ条約が国内で発効している国の視覚障害者のための図書館では、著作権者の許諾なしでの交換が可能であるが、マラケシュ条約国内発効前の国では、著作権者の許諾が

⁹¹ World Bank (2020) Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment, p.41

⁹² WIPO, Copyright Act (Chapter C.28, as codified 2004), <https://wipolex.wipo.int/en/text/268735>（参照 2020-12-21）

⁹³ WIPO, Latest Version in WIPO Lex, <https://wipolex.wipo.int/en/legislation/details/11854>（参照 2020-12-21）

⁹⁴ WIPO, Country Profile, Nigeria, https://www.wipo.int/directory/en/details.jsp?country_code=NG（参照 2020-12-21）

必要である⁹⁵。著作物の共有はアクセシブル書籍連合体 (Accessible Books Consortium。以下、「ABC」) を通して行われており、2017年6月1日、ABCは、様々な国の視覚障害者のための図書館が、アクセス可能なフォーマットで書籍を交換できるようにするグローバル書籍サービス (Global Book Service) の開始を発表した。2020年12月の時点では、ナイジェリアからはどの団体も本サービスに参加していない。

国際図書館連盟 (International Federation of Library Associations and Institutions。以下、「IFLA」) は、定期的にモニタリングを行っており、2020年12月に発表された報告書で、ナイジェリアは、設定された7つの指標 (質問)⁹⁶のうち、2つの質問 (Can libraries use Marrakesh rights without paying remuneration (books)? 2. Can libraries use Marrakesh rights without paying remuneration for audio- books?) では「はい(Yes)」とされているが、他は「明らかでない(unclear)」と評価されている⁹⁷。また、IFLAは2018年に図書館員がマラケシュ条約に規定された取り組みを実施するための実践的なガイドラインを作成し発表した⁹⁸。

2-7. 新型コロナウイルスの流行がもたらした影響

① 各国政府が実施したコロナウイルス対策における障害者への合理的配慮

2020年4月、FMHDSの大臣は、障害者を含むすべてのナイジェリア人の生活条件を改善すると宣言し、ナイジェリア政府は、市民、特に障害者に対する新型コロナウイルスの影響を和らげるために全力を尽くすと述べ、これにより、FMHDSの政策とプログラムが包括的 (inclusive) になることが期待される⁹⁹。

2020年8月7日、世界銀行の取締役会は、ナイジェリアが新型コロナウイルスによってもたらされる脅威を防止、検出、対応するために、特に州レベルの対応に焦点を当てた1億1428万米ドルの資金調達を承認した。ナイジェリア政府は、新型コロナウイルスの局所感染の連鎖を断ち切り、封じ込め及び緩和戦略を通じて新型コロナウイルスの蔓延を制限するための即時支援として、36の州及び連邦首都地区 (Federal Capital Territory) に助成金を提供する¹⁰⁰、とした。

⁹⁵ ABC, ABC Global Book Service, <https://www.accessiblebooksconsortium.org/globalbooks/en/> (参照 2020-12-21)

⁹⁶ 7つの質問は：1. Can libraries use Marrakesh rights without paying remuneration (books)? 2. Can libraries use Marrakesh rights without paying remuneration for audio- books? 3. Can libraries use Marrakesh rights without needing to check on commercial availability? 4. Can libraries use Marrakesh rights without a registration obligation? 5. Can libraries use Marrakesh rights without additional record- keeping requirements? 6. Can libraries use exceptions to serve people with dyslexia included? 7. Are people with other disabilities included?

⁹⁷ IFLA (2020) Marrakesh Treaty Implementation, https://www.ifla.org/files/assets/hq/topics/exceptions-limitations/documents/marrakesh_update_december_2020.pdf (参照 2020-12-21)

⁹⁸ IFLA (2018) Implementing the Marrakesh Treaty for persons with print disabilities, A practical guide for librarians, https://www.ifla.org/files/assets/hq/topics/exceptions-limitations/getting_started_faq_marrakesh_treaty_a_practical_guide_for_librarians_2018_en.pdf (参照 2020-12-21)

⁹⁹ IDS (Institute of Development Studies). June 2020. Nigeria Situational Analysis, p. 25, <https://opendocs.ids.ac.uk/opendocs/bitstream/handle/20.500.12413/15561/DID%20SITAN%20Nigeria%20V2%20July%202020.pdf?sequence=1&isAllowed=y> (参照 2020-12-24)

¹⁰⁰ World Bank. August 7 2020, Press Release, <https://www.worldbank.org/en/news/press-release/2020/08/07/nigeria-to-boost-states-capacity-for-covid-19-response> (参照 2020-12-24)

② 障害者が保健サービスを受ける権利に対するコロナ禍の影響

新型コロナウイルス障害権利モニター¹⁰¹（COVID-19 Disability Rights Monitor。以下、「COVID-DRM」）¹⁰²では、「新型コロナウイルスの治療への障害者のアクセスについてあなたは何を知っていますか？¹⁰³」という質問を行い、回答したナイジェリア人の76%が「障害のある人が他の人と平等に治療を受けることができるかどうかはわかりません」と回答した。

「政府は、施設に滞在／居住している障害者の生命、健康及び安全を保護するための措置を講じていますか？¹⁰⁴」という質問を行い、回答したナイジェリア人の42%が「措置はない」、29%が「多少の措置はあったが不十分であった」と回答した。また、「政府は、地域に居住している障害者の生命、健康及び安全を保護するための措置を講じていますか？¹⁰⁵」という質問を行い、回答したナイジェリア人の42%が「措置はない」、37%が「多少の措置はあったが不十分であった」と回答した。

「政府は、障害のある人が一般的及び専門的な医療にアクセスできるようにするための措置を講じていますか？¹⁰⁶」という質問を行い、回答したナイジェリア人の55%が「措置はない」、24%が「多少の措置はあったが不十分であった」と回答した。

③ 障害者が教育を受ける権利に対するコロナ禍の影響

COVID-DRM では、「政府は、全寮制の学校に通う障害児のための措置を講じていますか？¹⁰⁷」という質問を行い、回答したナイジェリア人の66%が「措置はない」と回答した。また、「政府は非常事態宣言の際に障害児の家族を支援するための措置を講じていますか？¹⁰⁸」という質問を行い、回答したナイジェリア人の68%が「措置はない」と回答した。

④ 障害者の移動に対するコロナ禍の影響

COVID-DRM は、「この封鎖中に障害者が移動することを考慮されていないことを懸念しています。例えば、抗てんかん薬を服用している神経的な状態（neurological conditions）の子どもは、自分の薬にアクセスできません。多くの人が服用できないでいます。カテーテルを使用して膀胱失禁（bladder incontinence）を管理している子どもたちは、感染症やその他

¹⁰¹ COVID-19 Disability Rights Monitor (2020) <https://covid-drm.org/data?country=NG>（参照 2020-12-24）

¹⁰² COVID-DRM は、Validity Foundation – Mental Disability Advocacy Centre, European Network on Independent Living (ENIL), Disability Rights International (DRI), The Disability Rights Unit at the Centre for Human Rights, University of Pretoria, International Disability and Development Consortium (IDDC)等が協力し、新型コロナウイルスに関連した障害者の経験や国が非常事態にどのように対応しているかに関する情報収集を目的として実施され、2020年4月20日から8月8日までの間、世界134カ国から2,152人の回答が寄せられた。ナイジェリア人は63人が回答している。

¹⁰³ 英文：What do you know of persons with disabilities' access to medical treatment for COVID-19?

¹⁰⁴ 英文：Has the Government taken measures in order to protect the life, health and safety of persons with disabilities staying at/living in institutions?

¹⁰⁵ 英文：Has the Government taken measures in order to protect the life, health and safety of persons with disabilities living in the community?

¹⁰⁶ 英文：Has the Government taken measures to ensure that persons with disabilities can access general and specialised medical health care?

¹⁰⁷ 英文：Has the Government taken measures in relation to children with disabilities attending residential schools?

¹⁰⁸ 英文：Has the Government taken measures in order to support families of children with disabilities during the state of emergency situation?

の合併症を起こしやすくなっています¹⁰⁹」という回答を紹介している。また、「ナイジェリアの配送センターの1つで食糧支援を求める際に警官から嫌がらせを受けました¹¹⁰」という脳性まひの子どもの母親の回答を紹介している。

また、「隔離中、またはあなたの国の新型コロナウイルスの状況のために、障害者がアクセスできなかったサービス及び/または支援はありますか？ 該当するものをすべて選択してください。¹¹¹」という質問を行い、回答したナイジェリア人の約20%が「食糧と基本的な物資へのアクセス」、約13%が「介助者」と回答した。

⑤ 障害者の就労に対するコロナ禍の影響

2020年11月4日と5日、西アフリカ障害者団体連盟(West Africa Federation of Organisations of Persons with Disabilities: WAFOD)、アフリカ障害フォーラム(African Disability Forum: ADF)、国際障害同盟(International Disability Alliance: IDA)が、コロナ禍に対する障害者の社会保障や雇用について協議するため、地域ワークショップを開催し、ナイジェリアを含む主に西アフリカの11カ国のDPOが集まった。このワークショップは、ノルウェー開発協力局(Norwegian Agency for Development Cooperation: NORAD)の支援を受けて、国連障害者権利条約(United Nations Partnership on the Rights of Persons with Disabilities)、国際労働機関(International Labour Organization : ILO)、UNICEFが協力して開催された¹¹²。

⑥ 障害者への情報保障に対するコロナ禍の影響

2020年7月、ナイジェリアの全国ニュースで恒久的に手話通訳がなされることが発表され、聴覚障害のある人は新型コロナウイルスに関する情報や速報にアクセスしやすくなった。ナイジェリア政府は、2020年7月の試験運用に続いて、手話通訳者を終身雇用することを約束した。

COVID-DRMでは、「あなたの国で新型コロナウイルスに関する情報が提供されているのは、次のどの形式ですか？ あなたが知っているすべての対策を確認してください¹¹³」という質問を行い、回答したナイジェリア人の約23%が「情報は音声形式で利用できた」、約15%が「情報は手話通訳者を介して利用できた」と回答した。

¹⁰⁹ COVID-19 Disability Rights Monitor, <https://covid-drm.org/country/NG> (参照 2020-12-24)

¹¹⁰ COVID-19 Disability Rights Monitor, <https://covid-drm.org/en/statements/covid-19-disability-rights-monitor-drm-calls-for-an-end-to-police-violence-and-abuse-against-persons-with-disabilities-and-their-family-members> (参照 2020-12-24)

¹¹¹ 英文 : Are there services and/or support that persons with disabilities cannot access during the quarantine or because of the COVID-19 situation in your country? Please select all that apply.

¹¹² International Disability Alliance. November 5, 2020, <https://www.internationaldisabilityalliance.org/regional-workshop-west-africa-covid-19-crisis> (参照 2020-12-24)

¹¹³ 英文 : In which of the below formats has information on COVID-19 been provided in your country? Check all measures that you are aware of.

3. 障害関連団体の活動概況

3-1. 障害当事者団体の活動概要

団体名	概要
JONAPWD	<ul style="list-style-type: none"> • JONAPWD は、小規模から中規模までの、ナイジェリア国の障害者によるさまざまな民間団体の集合体である。 • 国中の障害者の団結と機会均等の確保及び社会における差別の廃絶のためにも闘うことを目的として、2004年10月の委員会規則の完成と共に設立された。 • 障害者の窓口として、連邦、州、及び地方政府に対して積極的に活動している。 • 協会メンバーに対しては、情報、援助、助言を与え、スポーツ活動やレクリエーション及び宣伝活動などへの参加を呼びかけている。 • 各政府に対しては、目的達成のために、宣伝と運動を行っている。¹¹⁴
ナイジェリア全国聴覚障害者協会 (Nigerian National Association of the Deaf: NNAD)	<ul style="list-style-type: none"> • NNAD は、ナイジェリアの聴覚障害者に関する問題において、連邦政府、州政府、地方自治体、及びNGOとの連携を促進するために設立された統轄団体 (umbrella organization) である。 • 聴覚障害について多くの人々への啓発活動を行う。 • 国内外の聴覚障害者間で情報交換するためのフォーラムとして機能している。 • 聴覚障害者のための研修支援を行う。 • 聴覚障害者の職業リハビリテーションや就労など、聴覚障害に関して民間機関、政府機関、個人及びコミュニティ間の連絡役を務めている。
ナイジェリア視覚障害者協会 (National Association of the Blind: NAB)	<ul style="list-style-type: none"> • NAB は、啓発、能力開発、パートナーシップを通じて、ナイジェリアの視覚障害者の権利を促進することを目的に1968年に設立された。 • JONAPWD 傘下のクラスター組織であり、アフリカ盲人連合 (African Union of the Blind: AFUB) 及び世界盲人連合 (World Blind Union: WBU) のメンバー。また、全国盲人諮問評議会 (National Advisory Council for the Blind: NNACB) のメンバーでもある。

¹¹⁴ JICA (2009) 国別障害関連情報 ナイジェリア連邦共和国, p.25

3-2. 障害者支援団体の活動概要

団体名	概要
CBM インターナショナル	<ul style="list-style-type: none"> • CBM の主な活動は、視覚障害者支援と CBR の促進。 • CBR に関しては、1994 年以來、ナイジェリアの 8 つの州にある 10 のパートナー団体を支援。 • 2015 年、複数年計画の戦略的方向性を示すため、10 の CBR プロジェクトを評価した¹¹⁵。
Liliane 財団 (Liliane Foundation)	<ul style="list-style-type: none"> • Daughters of Charity of St. Vincent de Paul (DCSVP) ¹¹⁶を通じて障害のある子どもたちを支援。 • DCSVP は、自助グループの形成と児童保護に焦点を当て、障害のある子どもや女性の権利促進に向けた取り組みを実施。
障害者権利擁護基金 (Disability Rights Advocacy Funds)	<ul style="list-style-type: none"> • 障害のある女性の健康と正義に対する権利、インクルーシブ教育を受ける権利、及び障害者の権利に係る法を推進。
西アフリカのための開かれた社会イニシアチブ (Open Society Initiative for Western Africa)	<ul style="list-style-type: none"> • 法の支配、選挙プロセス、及び女性やその他の脆弱なグループの権利を促進

¹¹⁵ 評価結果は、「2-5. 地域に根ざしたリハビリテーション/インクルーシブ開発 (CBR/CBID) の状況」参照。

¹¹⁶ Daughters of Charity of St. Vincent de Paul (DCSVP), <https://daughtersofcharitynigeria.org> (参照 2020-12-23)

4. 参考資料

- CBM (2015) *Enablement. Evaluation of 10 CBR Programs Supported by CBM in Nigeria*,
https://enablement.eu/wp-content/uploads/2019/09/Annual_report_2015.pdf (参照 2020-12-19)
- IDS (Institute of Development Studies) (2020) *Nigeria Situational Analysis*,
<https://opendocs.ids.ac.uk/opendocs/bitstream/handle/20.500.12413/15561/DID%20SITAN%20Nigeria%20V2%20July%202020.pdf?sequence=1&isAllowed=y> (参照 2020-12-24)
- JONAPWD (Joint National Association of Persons with Disabilities)(2015) *REPORT OF THE BASELINE SURVEY AND STAKEHOLDERS MAPPING ON INCLUSIVE BASIC EDUCATION IN AKWA- IBOM STATE, KWARA STATE AND THE FEDERAL CAPITAL TERRITORY ABUJA*,
https://www.jonapwd.org/report_of_baseline_survey_.pdf (参照 2020-12-19)
- Leonard Cheshire (2018) *Disability Data Review: A Collation and Analysis of Disability Data from 40 Countries*. London: Leonard Cheshire.,
https://www.disabilitydataportal.com/fileadmin/uploads/lcdp/Documents/report-web_version.pdf
 (参照 2020-12-19)
- NBS (National Bureau of Statistics) (2012) *IN COLLABORATION WITH FEDERAL MINISTRY OF YOUTH DEVELOPMENT, NATIONAL BASELINE YOUTH SURVEY*,
https://www.nigerianstat.gov.ng/pdfuploads/2102%20National%20Baseline%20Youth%20Survey%20Report_1.pdf (参照 2020-12-19)
- NPC (2018) in collaboration with NMEP of FMH, *Nigeria Demographic and Health Survey*,
<https://www.dhsprogram.com/pubs/pdf/FR359/FR359.pdf> (参照 2020-12-19)
- Samuel, J. U. (2015) “*Utilization of Community Based Rehabilitation for Persons with Disabilities (PWD) in Nigeria: The Way Forward*”, *European Scientific Journal* 11 (25)
<https://www.infondt.org/resource/utilization-community-based-rehabilitation-persons-disabilities-pwd-nigeria-way-forward> (参照 2020-12-19)
- Smith, N. (2011) “*The Face of Disability in Nigeria: A Disability Survey in Kogi and Niger States.*” *Disability, CBR and Inclusive Development* 22 (1).
https://www.researchgate.net/publication/271123774_The_Face_of_Disability_in_Nigeria_A_Disability_Survey_in_Kogi_and_Niger_States (参照 2020-12-19)
- World Bank (2020) *Disability Inclusion in Nigeria, A Rapid Assessment*,
<https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/34073> (参照 2020-12-19)

国際協力機構 (2009) 『国別障害関連情報 ナイジェリア連邦共和国』

<ウェブ情報>

ABC (Accessible Books Consortium), ABC Global Book Service,

- <https://www.accessiblebooksconsortium.org/globalbooks/en/> (参照 2020-12-21)
- Alade, E. B. (2004) “*Community-based Vocational Rehabilitation (CBVR) for People with Disabilities: Experiences from a Pilot Project in Nigeria*”, *British Journal of Special Education* 31
- https://www.researchgate.net/publication/229002550_Backbone_principles_of_the_CBR_guidelines_and_their_application_in_the_field_of_leprosy (参照 2020-12-19)
- Business Day, August 24, 2020, <https://businessday.ng/news/article/buhari-appoints-es-for-national-commission-for-persons-with-disabilities/> (参照 2020-12-19)
- COVID-19 Disability Rights Monitor, <https://covid-drm.org/data?country=NG> (参照 2020-12-24)
- COVID-19 Disability Rights Monitor, <https://covid-drm.org/country/NG> (参照 2020-12-24)
- COVID-19 Disability Rights Monitor, <https://covid-drm.org/en/statements/covid-19-disability-rights-monitor-drm-calls-for-an-end-to-police-violence-and-abuse-against-persons-with-disabilities-and-their-family-members> (参照 2020-12-24)
- DCSVP (Daughters of Charity of St. Vincent de Paul), <https://daughtersofcharitynigeria.org> (参照 2020-12-23)
- Ebenso, B., M. Idah, T. Anyor, and F. Opakunmi (2010) “*Lessons from the Evolution of a CBR Programme for People Affected by Leprosy in Northern Nigeria*”, *Leprosy Review* 81 (4). <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/21313977/> (参照 2020-12-19)
- Effiong, U. U., and E. Otu. (2017) “*Community-based Rehabilitation Services and Livelihood Enhancement for Persons with Disabilities in Nigeria: A Case Study of Akwa Ibom State*”, *Journal of Sociology, Psychology and Anthropology in Practice* 8 (1)
- FRN (Federal Republic of Nigeria) (2004) *COMPULSORY, FREE UNIVERSAL BASIC EDUCATION ACT*, <https://www.lawyard.ng/wp-content/uploads/2020/04/COMPULSORY-FREE-UNIVERSAL-BASIC-EDUCATION-ACT2004.pdf> (参照 2020-12-19)
- FRN (2004) *National Policy on Education, 4th edition*, http://wbgfiles.worldbank.org/documents/hdn/ed/saber/supporting_doc/AFR/Nigeria/TCH/National%20Policy%20on%20Education.pdf (参照 2020-12-23)
- FRN (2018) *Discrimination against persons with disabilities (prohibition) Act 2018*, <https://nigeriahealthwatch.com/wp-content/uploads/bsk-pdf-manager/2019/02/1244-Discrimination-Against-Persons-with-Disabilities-Prohibition-ACT-2018.pdf> (参照 2020-12-19)
- FRN (2020) *The Presidency, The Office of the Senior Special Assistant to the President on SDGs OSSAP-SDGs, A Second Voluntary National Review, Integration of the SDGs into National Development Planning*, https://sustainabledevelopment.un.org/content/documents/26309VNR_2020_Nigeria_Report.pdf (参照 2020-12-19)

- IDA (International Disability Alliance). November 5, 2020,
<https://www.internationaldisabilityalliance.org/regional-workshop-west-africa-covid-19-crisis>
 (参照 2020-12-24)
- iFinance, <https://www.ifinance.ne.jp/glossary/loan/loa131.html> (参照 2020-12-19)
- IFLA (International Federation of Library Associations and Institutions), 2020, Marrakesh Treaty Implementation, https://www.ifla.org/files/assets/hq/topics/exceptions-limitations/documents/marrakesh_update_december_2020.pdf (参照 2020-12-21)
- IFLA, 2018, Implementing the Marrakesh Treaty for persons with print disabilities, A practical guide for librarians, https://www.ifla.org/files/assets/hq/topics/exceptions-limitations/getting_started_faqr_marrakesh_treaty_a_practical_guide_for_librarians_2018_en.pdf
 (参照 2020-12-21)
- OHCHR, UN Treaty Body Database, Reporting status for Nigeria,
https://tbinternet.ohchr.org/_layouts/15/TreatyBodyExternal/Countries.aspx?CountryCode=NGA&Lang=EN (参照 2020-12-19)
- NHIS (National Health Insurance Scheme) website, <https://www.nhis.gov.ng>
- Scholaro Pro. <https://www.scholaro.com/pro/Countries/Nigeria/Education-System> (参照 2020-12-19)
- Washington Group on Disability Statistics (2020) *The Washington Group Short Set on Functioning (WG-SS)*, https://www.washingtongroup-disability.com/fileadmin/uploads/wg/Documents/Questions/Washington_Group_Questionnaire__1_-_WG_Short_Set_on_Functioning.pdf (参照 2020-12-08)
- WIPO (World Intellectual Property Organization), Copyright Act (Chapter C.28, as codified 2004), <https://wipolex.wipo.int/en/text/268735> (参照 2020-12-21)
- WIPO, Country Profile, Nigeria, https://www.wipo.int/directory/en/details.jsp?country_code=NG
 (参照 2020-12-21)
- WIPO, Latest Version in WIPO Lex, <https://wipolex.wipo.int/en/legislation/details/11854> (参照 2020-12-21)
- World Bank, <https://data.worldbank.org/indicator> (参照 2020-12-08)
- World Bank, August 7 2020, Press Release, <https://www.worldbank.org/en/news/press-release/2020/08/07/nigeria-to-boost-states-capacity-for-covid-19-response> (参照 2020-12-24)
- 外務省, https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_000899.html (参照 2020-12-19)
- 在ナイジェリア日本大使館, <https://www.ng.emb-japan.go.jp/files/000549231.pdf> (参照 2020-12-25)
- 在ナイジェリア日本大使館, https://www.ng.emb-japan.go.jp/j/photo_gallery/20150827nonpro_grantaid.pdf (参照 2020-12-25)
- 内閣府 (2019) 『障害者統計の充実に係る調査研究』

https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/tyosa/r01toukei/h4_01.html (参照 2020-12-12)

JICA (2015) 『課題別指針「障害と開発」』

https://www.jica.go.jp/activities/issues/social_sec/ku57pq00002cyac5-att/guideline_handicap_development.pdf (参照 2020-12-19)